鯉のぼりセットの組立方図解

ベランダ用 スーパーロイヤルセット

(20-15)

●ご使用の際には、右記の”御使用上の注意”をよく御読みください。

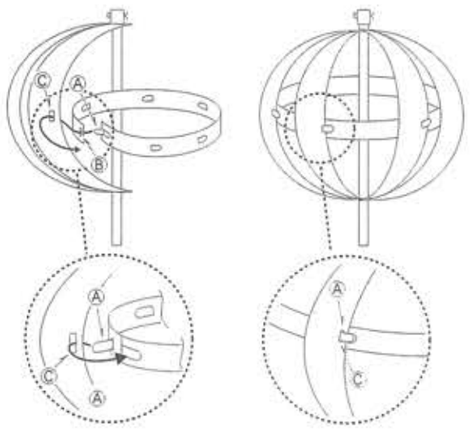
パーツリスト

矢車 …… 2ヶ	十字形軸受 …… 1ヶ		
ポール …… 1ヶ	矢車軸 …… 1ヶ		
回転球 …… 1ヶ	帯(回転球用) …… 1ヶ		
安全チューブ …… 1ヶ	鯉のぼり掲揚ロープ …… 1ヶ		

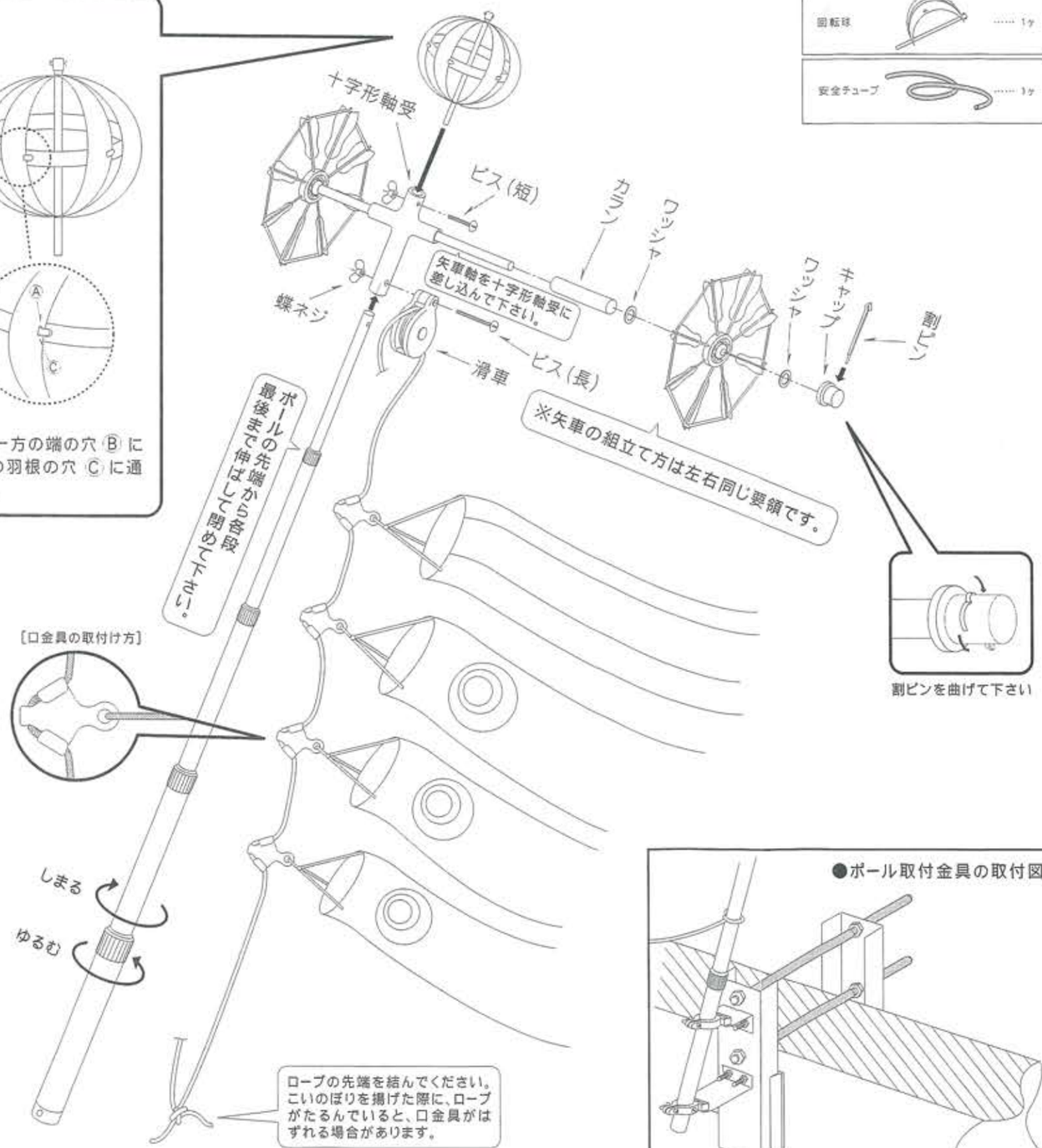
部品箱

こいのぼり口金具 …… 4ヶ		ビス(長)蝶ネジ …… 1ヶ	
カラン …… 2ヶ		ビス(短)蝶ネジ …… 1ヶ	
キャップ …… 2ヶ		割ピン …… 4ヶ(予備2ヶ)	
ワッシャ …… 4ヶ		滑車 …… 1ヶ	

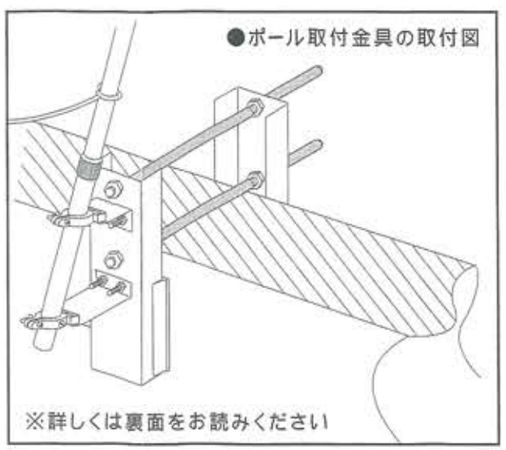
●回転球の組立図



※帯の片端のツメ Ⓐ を起こし一方の端の穴 Ⓑ に通して輪にし、さらに回転球の羽根の穴 Ⓒ に通しツメ Ⓐ を裏側に巻き込む。



割ピンを曲げて下さい



御使用上の注意

○御使用前に必ずお読み下さい。
お読みになったあとは、必ず保存して下さい。
○お節句の鑑賞用以外にはご使用しないで下さい。

⚠ 警告

○電線に触れない場所に立てて下さい。
○万一、矢車又はポールが電線に触れたり、こい、吹流し等が電線に絡んだときは絶対に矢車、ポール、こい、吹流し等には触れず、直ちに電力会社に通報して協力を得て下さい。
○雨天時、強風時には、掲揚しないで下さい。

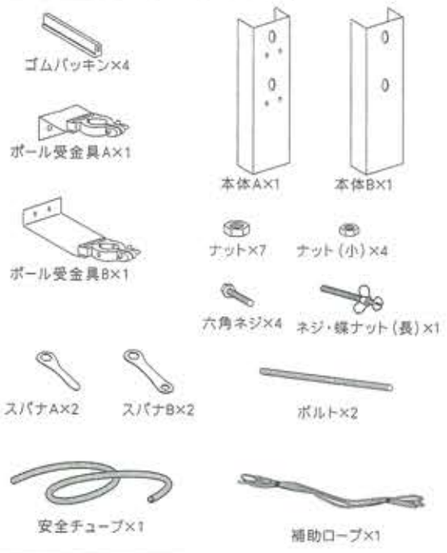
⚠ 警告

○各パーツの取り付け折り曲げ作業は、必ずペンチとネジ回しを御用意下さい。
○ベランダ等で組立、掲揚するおり、階下の安全を充分に確認して下さい。
(部品の落下は危険です。)
○ポール等の落下防止の為、鯉のぼりロープの端はベランダの手摺り等にしっかりと結び付けて下さい。
○部品落下防止の為、各ネジ部品は充分に締め付け緩みがないか毎日点検して下さい。
○御使用後の解体は、組立方の逆に行って下さい。
○御使用後は、汚れを落とし乾いた布でよく拭き乾燥させてから保管して下さい。
○本製品は消耗品であり、使用、保管状態により変色、腐食する場合があります。翌年、組立前に必ず腐食状態をご確認下さい。
御使用中に破損する可能性があります。
○本製品は日本国内でのみ御使用下さい。

万能型アルミベランダ取り付け金具取り扱い説明書

ご注意　取り付けの際は、ベランダからの落下、部品の取り落とし等に十分ご注意下さい。

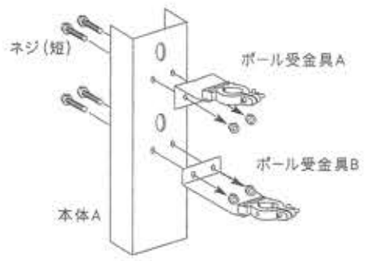
ベランダ取付け金具部品名



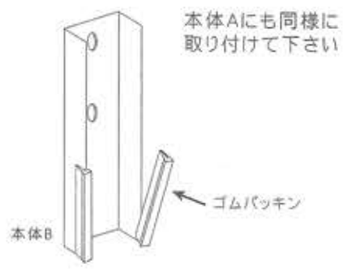
組み立て方

① 本体Aにポール受金具A、Bを取り付けます。

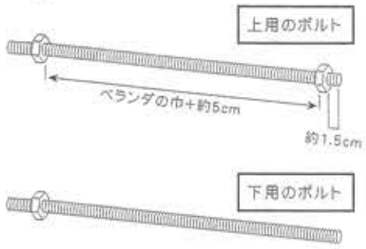
スパナAを使ってしっかり固定します。



② 本体A、Bにゴムパッキンを取り付けます。



③ ボルトにナットを取り付けます。

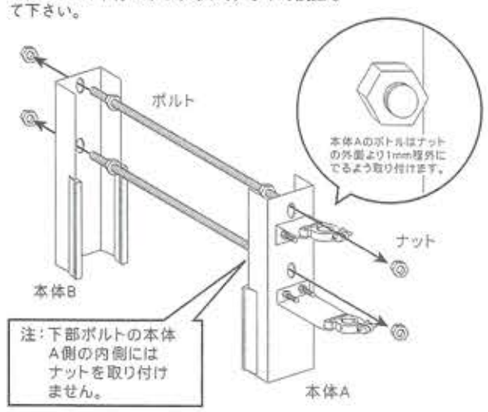


本体Aに差し込む方は、端から1.5cm程のところにナットがくるようにする。ナットとナットの巾はベランダの巾より5cm程広くなるようにする。

本体Aに差し込む方は、ナットを取り付けない。

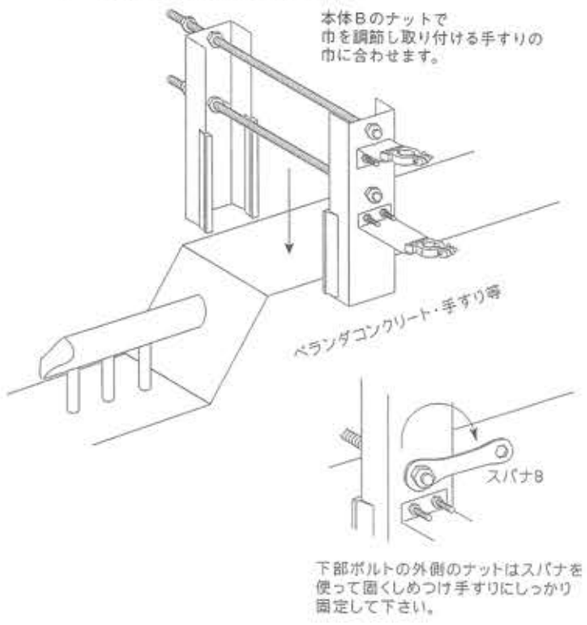
④ ボルトを本体A、Bの内側から差し込み、外側からナットで固定します。

本体A、Bが平行になるように、ナットで調節して下さい。



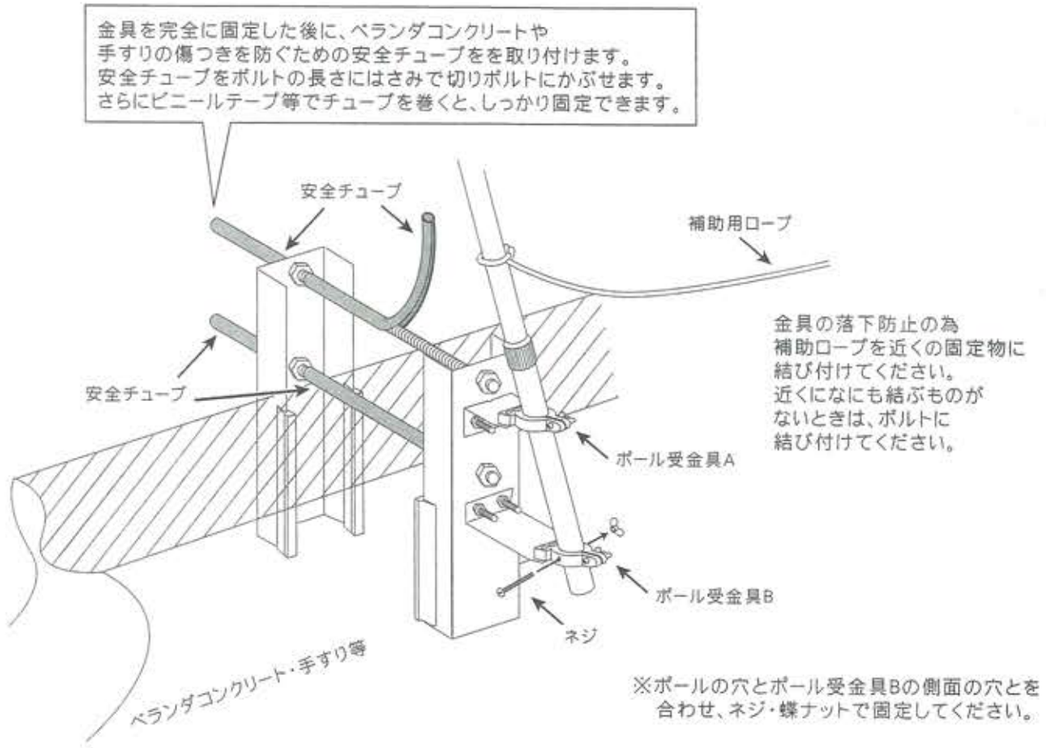
最大取り付け可能寸法は25cmです。

⑤ ④で組み立てた取付金具をベランダコンクリート・手すり等に取り付けます。



下部ボルトの外側のナットはスパナを使って固くしめつけ手すりにしっかり固定して下さい。

完成図

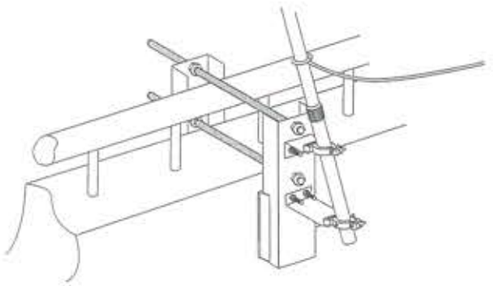


※ポールの穴とポール受金具Bの側面の穴とを合わせ、ネジ・蝶ナットで固定してください。

取り付け例

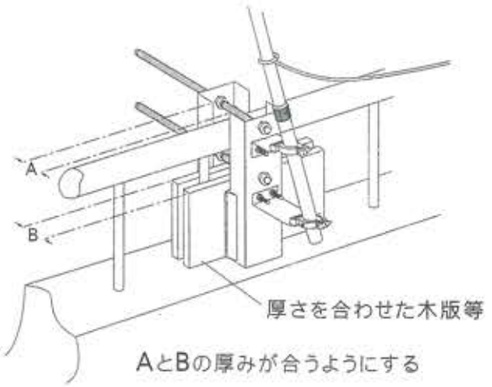
ベランダの種類によっては前面の取り付け方では、取り付けられない、又は不安定になってしまう場合があります。例を参考に確実に金具を固定するようにしてください。

① 手すり格子部分が短いベランダの場合



下部のボルトをあとから取り付け、手すりがボルトとボルトの間になるようにし、下部ボルトの外側ナットをきつくしめる。

② 手すり格子部分が長いベランダの場合



下部のボルトをあとから取り付け、手すりがボルトとボルトの間になるようにし、丁度よい厚さの木板等で格子を挟み下部ボルトの外側ナットをきつくしめる。